

住友重機械工業株式会社

第124期定時株主総会

報告事項

第124期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

第124期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

決議事項

- | | |
|-------|-------------|
| 第1号議案 | 剰余金の処分の件 |
| 第2号議案 | 取締役10名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査役2名選任の件 |
| 第4号議案 | 補欠監査役1名選任の件 |

事業報告

連結及び単体の計算書類

会計監査人及び監査役会の監査結果

事業の経過及びその成果

連結計算書類等



事業の経過及びその成果

中期経営計画2019

基本方針	具体的展開
1. 「着実な成長」の実現	<ul style="list-style-type: none">▶ グローバルでの伸長(特に量産系)▶ 新商品開発・投入の加速
2. 「高収益企業体」への転換	<ul style="list-style-type: none">▶ 各事業の役割に応じた投資(開発・設備・人材)実行▶ 自立化(営業利益率5%以上)
3. 「たゆみなき業務品質改善」による一流の商品・サービスの創出	<ul style="list-style-type: none">▶ 業務品質の飛躍的改善▶ アフターマーケット・ビジネス強化▶ システム技術(ICT, IoT)の積極的活用推進
4. 積極的な「M&A及び事業提携」等の実施	<ul style="list-style-type: none">▶ 組織統合, 連携を図り, 積極的にM&Aや他社との事業提携・協業実施
5. CSRの積極推進	<ul style="list-style-type: none">▶ 商品・サービスを通じた社会課題解決, 製品品質向上, CSR調達推進, ダイバーシティ推進, 環境(CO₂排出量削減)

当期の業績

業績サマリー

招集ご通知25頁

区 分	2018年度	2019年度
受注高	9,522億円	8,262億円 13%減
売上高	9,031億円	8,645億円 4%減
営業利益	752億円	568億円 24%減
経常利益	726億円	527億円 27%減
親会社株主に帰属する 当期純利益	457億円	328億円 28%減
ROIC(税引後)	10.5%	7.3%

セグメント別事業の状況

機械コンポーネント部門

招集ご通知27頁

機械コンポーネント部門

主要事業品目：減・変速機，モータ，インバータ

受注



売上

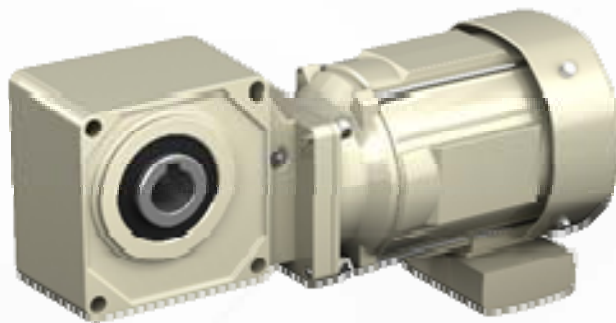


中小型減・変速機，ロボット用精密減速機の需要減少

営業利益



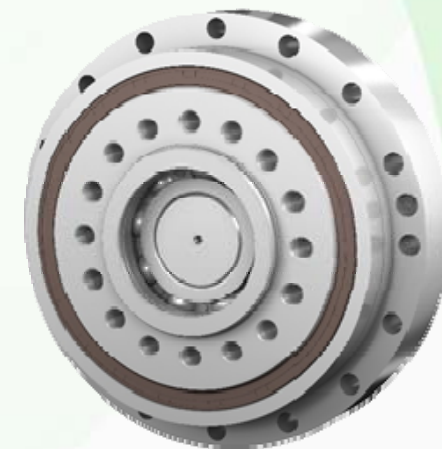
売上減少，費用の増加・機種構成の変化により減少



ハイポニック減速機®



サイクロ®減速機



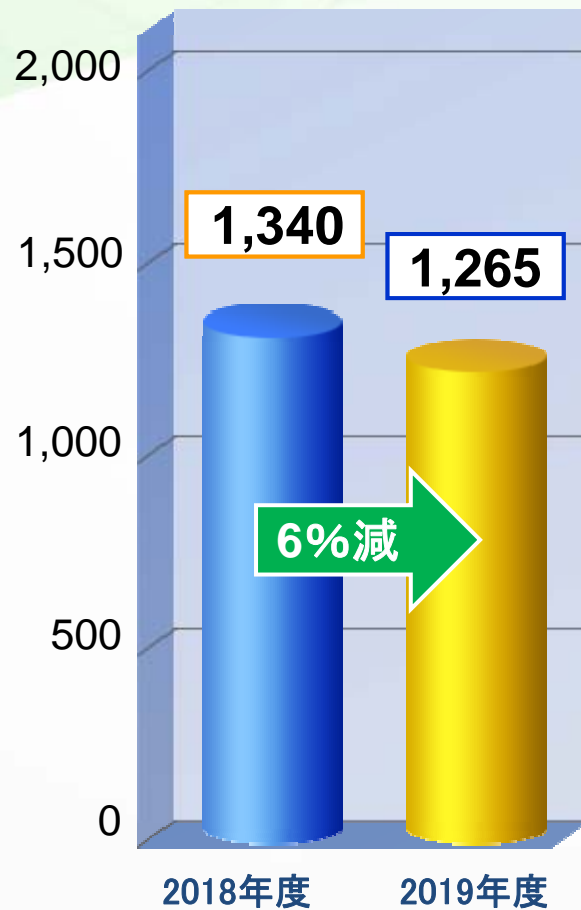
精密制御用サイクロ®減速機

機械コンポーネント部門

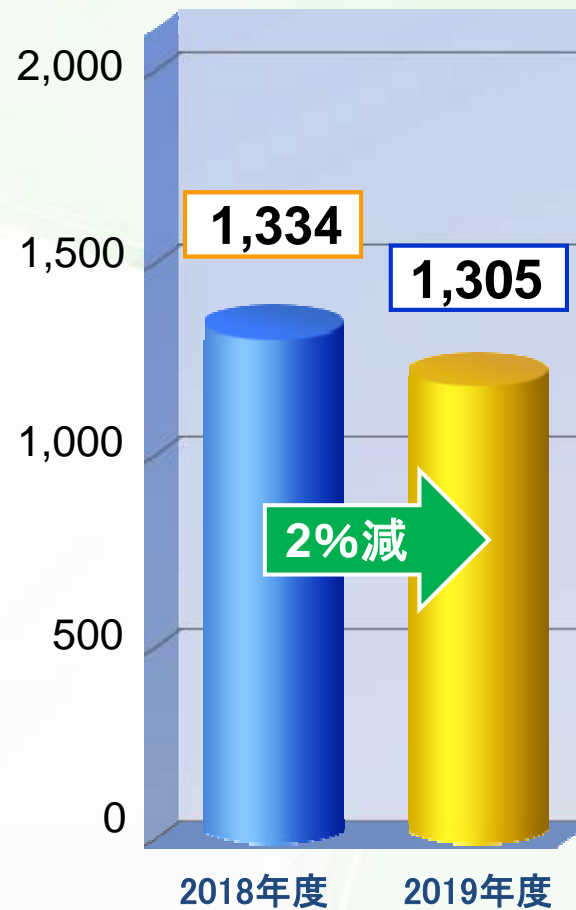
招集ご通知27頁

(単位:億円)

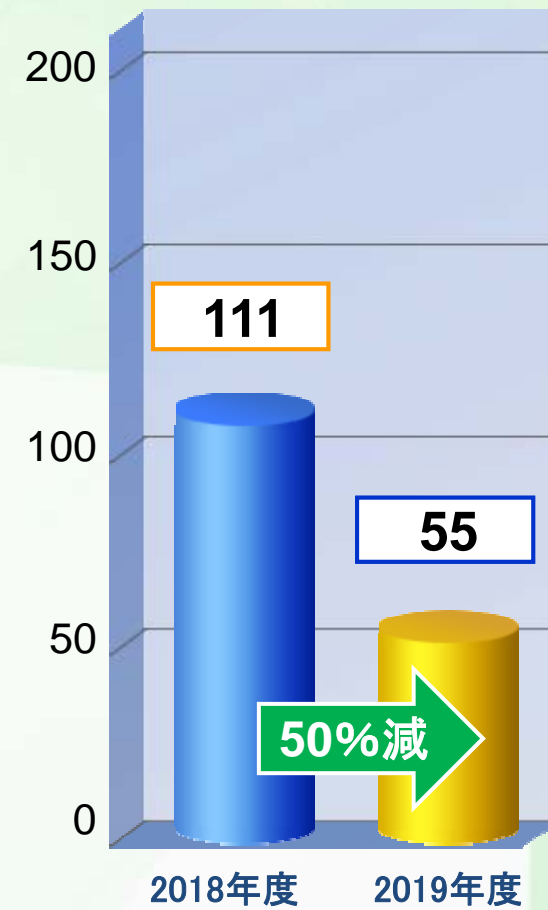
受注高



売上高



営業利益



プラスチック加工機械事業

主要事業品目：プラスチック加工機械，フィルム加工機械

受注 ↓

売上 ↓

営業利益 ↓

中国電気電子関連の需要低迷，
国内・欧州の需要減少



プラスチック加工機械

その他精密機械事業

主要事業品目：半導体製造装置，レーザ加工システム，極低温冷凍機，
精密位置決め装置，精密鍛造品，制御システム装置，防衛装備品，
工作機械

受注 ↑

売上 ↑

営業利益 ↑

半導体関連需要が堅調に推移



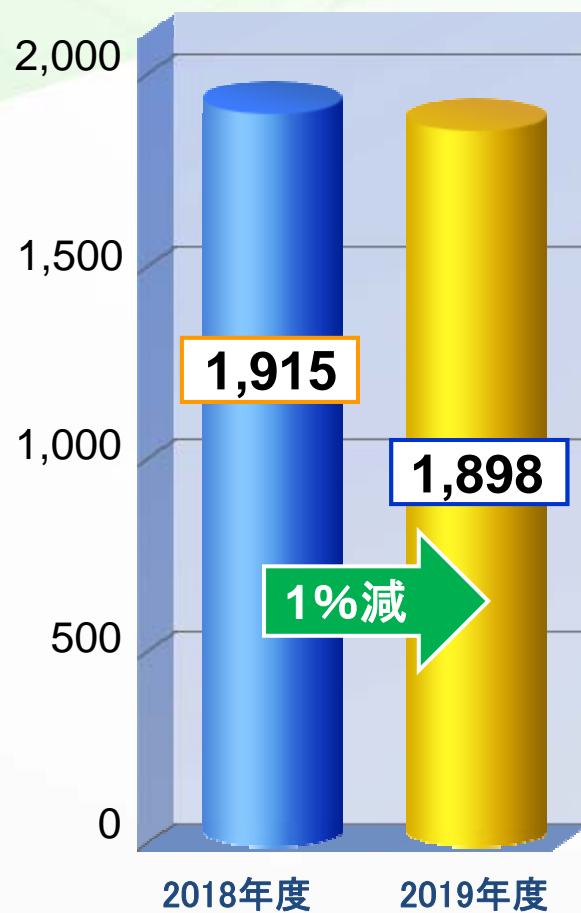
イオン注入装置

精密機械部門

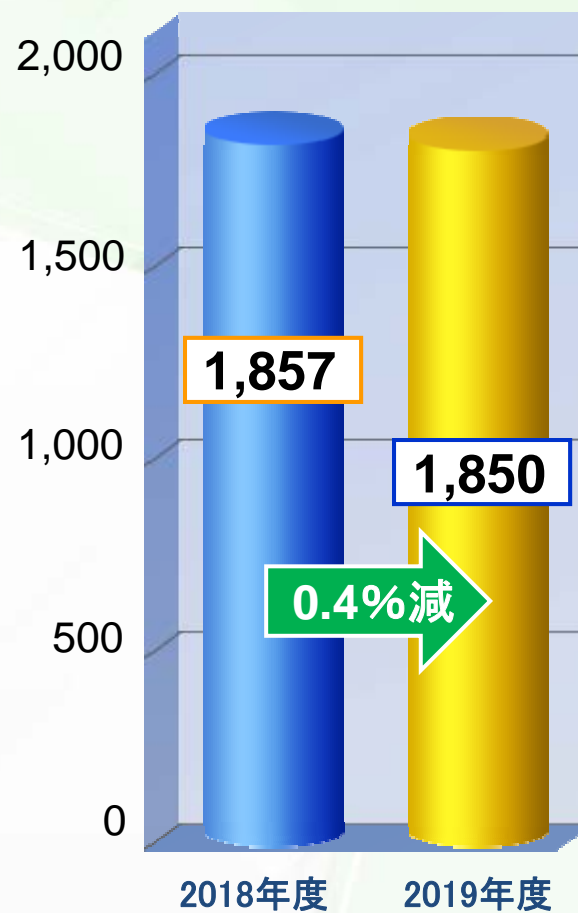
招集ご通知27頁

(単位: 億円)

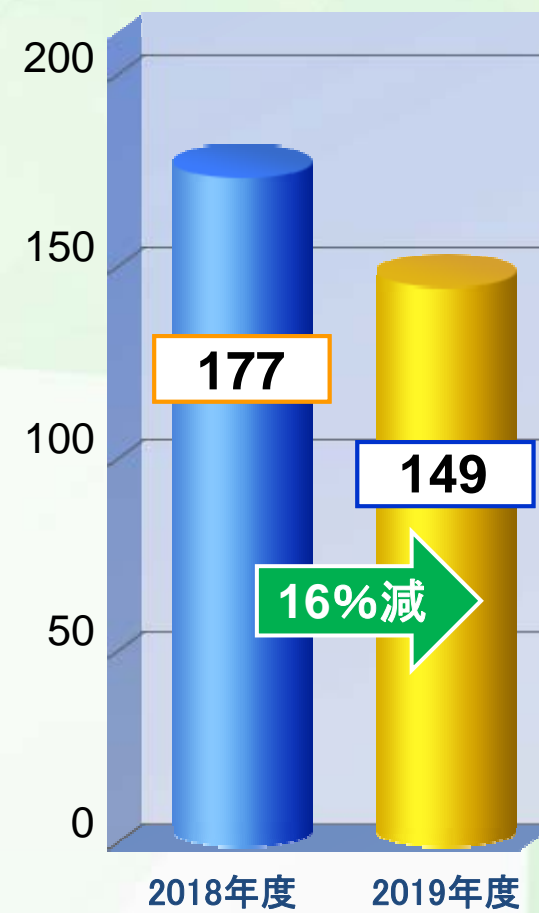
受注高



売上高



営業利益



油圧ショベル・道路機械事業

主要事業品目：油圧ショベル、道路機械

受注 ↓

売上 ↓

営業利益 ↓

アセアン需要減少，中国伸び悩み，台風被害による部品調達への影響等により減少



油圧ショベルLEGEST®

建設用クレーン事業

主要事業品目：建設用クレーン

受注 ↓

売上 ↓

営業利益 ↓

国内、北米の需要減少



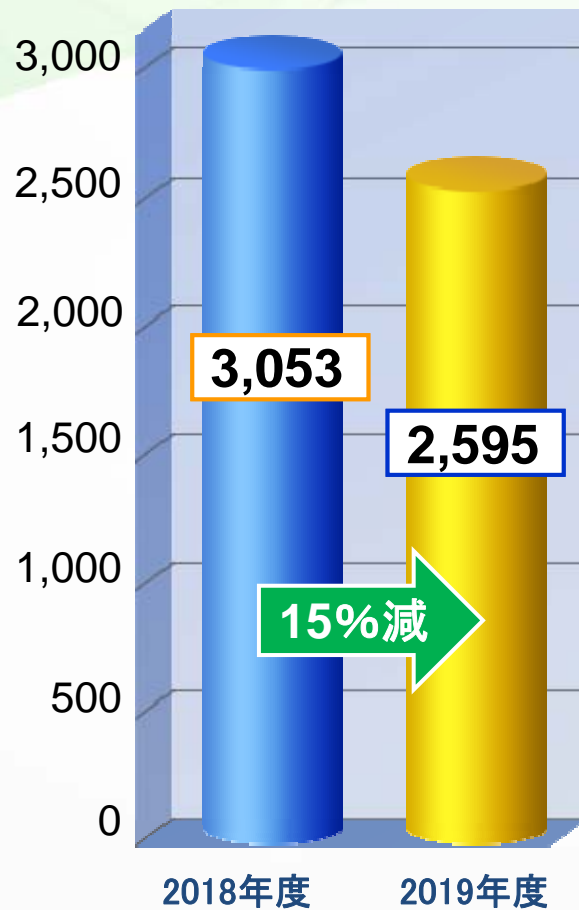
クローラクレーン

建設機械部門

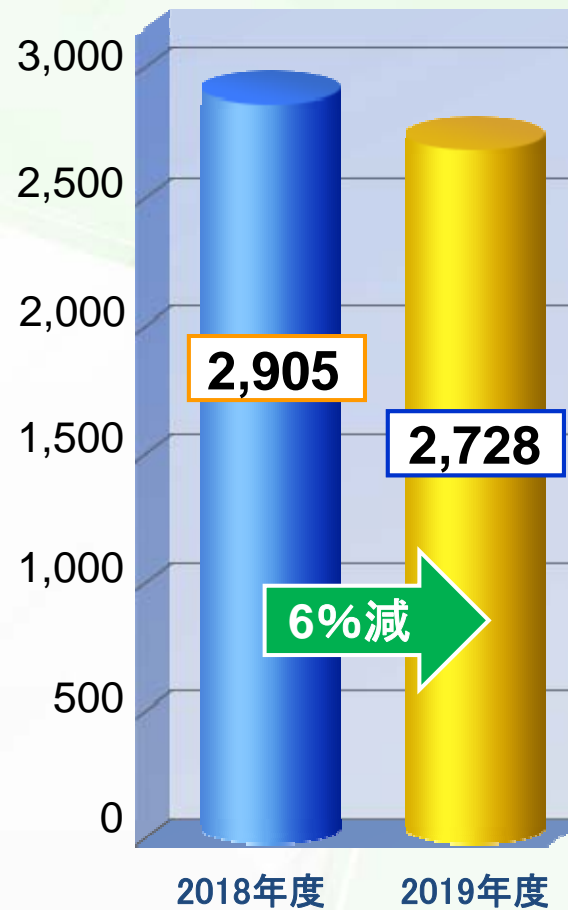
招集ご通知28頁

(単位: 億円)

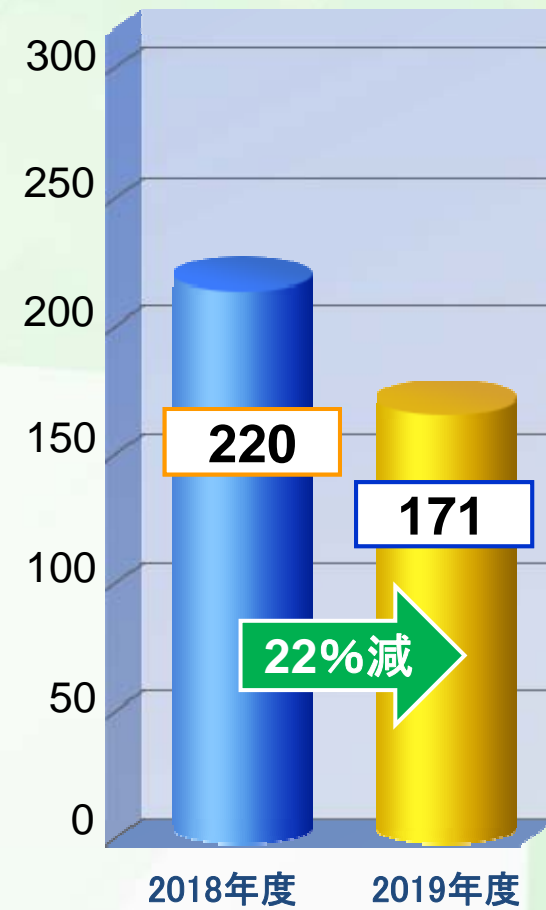
受注高



売上高



営業利益



運搬機械事業

主要事業品目：運搬荷役機械，物流システム，駐車場システム

受注 → 電力・港湾向け需要が堅調

売上 ↓ 翌期以降納期の受注残多く減少

営業利益 ↓ 売上減少，機種構成変化により減少



バケットエレベータ式連続アンローダ

その他産業機械事業

主要事業品目：加速器，医療機械器具，鍛造プレス，タービン，ポンプ

受注 ↓ 産業用機器の一部で減少

売上 ↓ 受注残少なく減少

営業利益 ↓



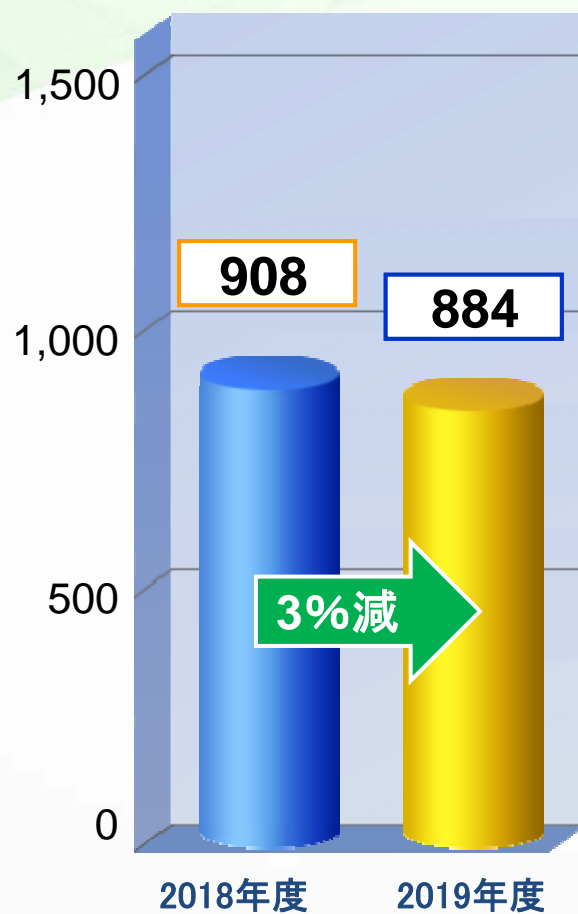
鍛造プレス

産業機械部門

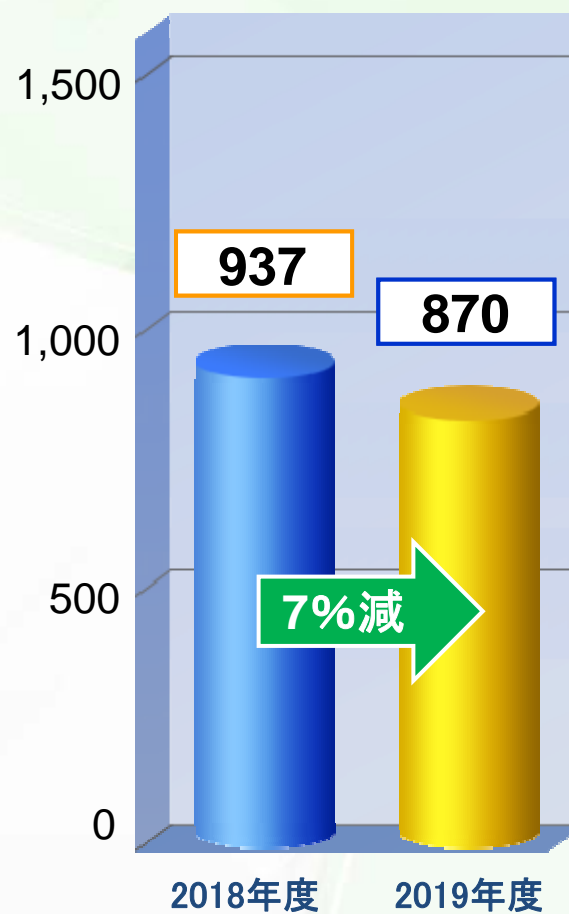
招集ご通知28頁

(単位: 億円)

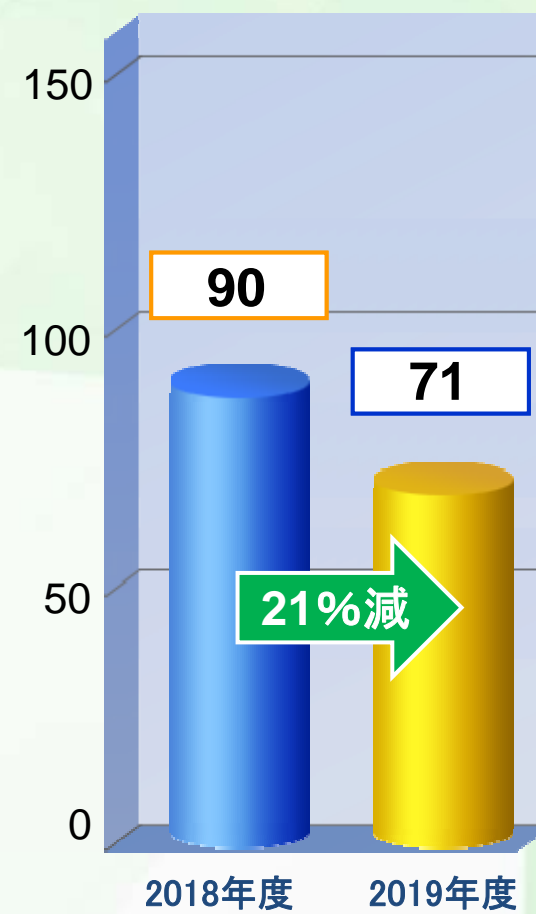
受注高



売上高



営業利益




船舶部門

招集ご通知29頁

船舶部門

主要事業品目：船舶

受注  新造船3隻受注

売上  4隻引渡しなるも、修理案件減少

営業利益  売上減少・台風被害の影響により営業損失



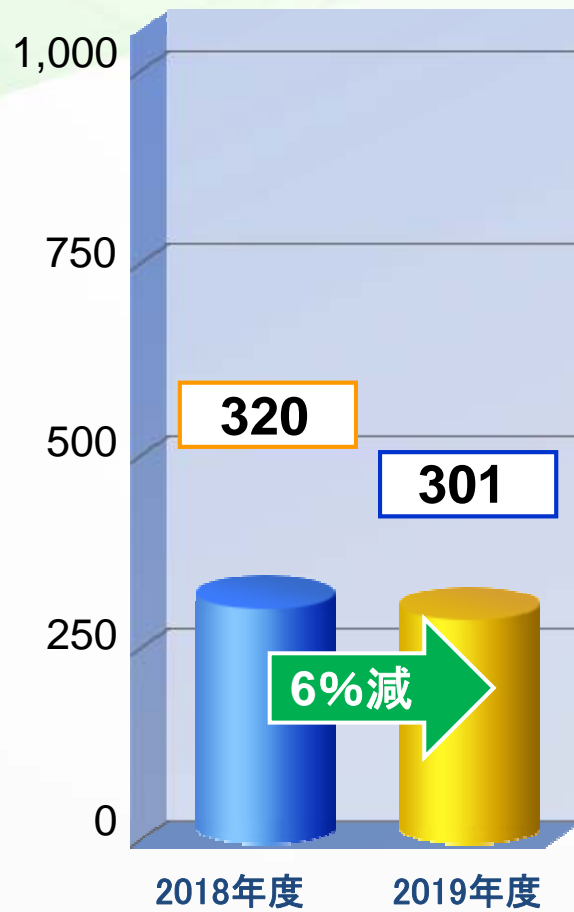
アフラマックス型タンカー

船舶部門

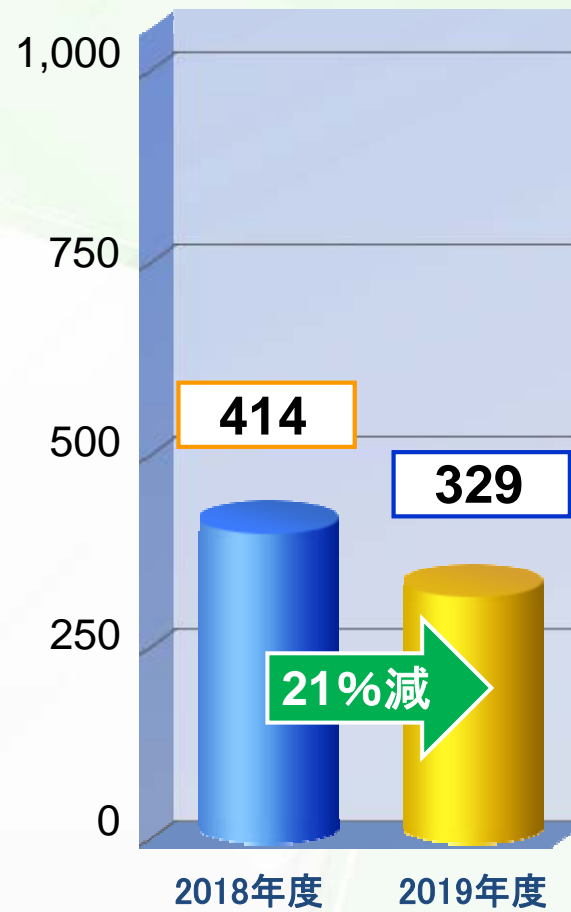
招集ご通知29頁

(単位: 億円)

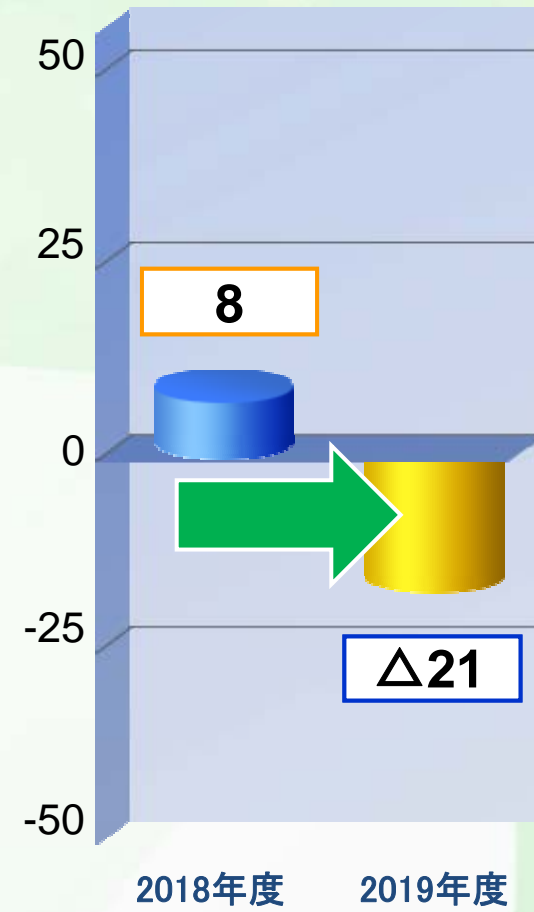
受注高



売上高



営業利益



エネルギープラント事業

主要事業品目：自家発電設備，ボイラ，産業廃棄物処理設備，大気汚染防止装置

受注 ↓ 大型国内バイオマス発電設備が減少

売上 → 受注残あり前期並み

営業利益 →



CFBボイラ発電プラント

水処理プラント事業

主要事業品目：水処理装置

受注 ↓ 排水処理装置案件が減少

売上 → 受注残あり前期並み

営業利益 →



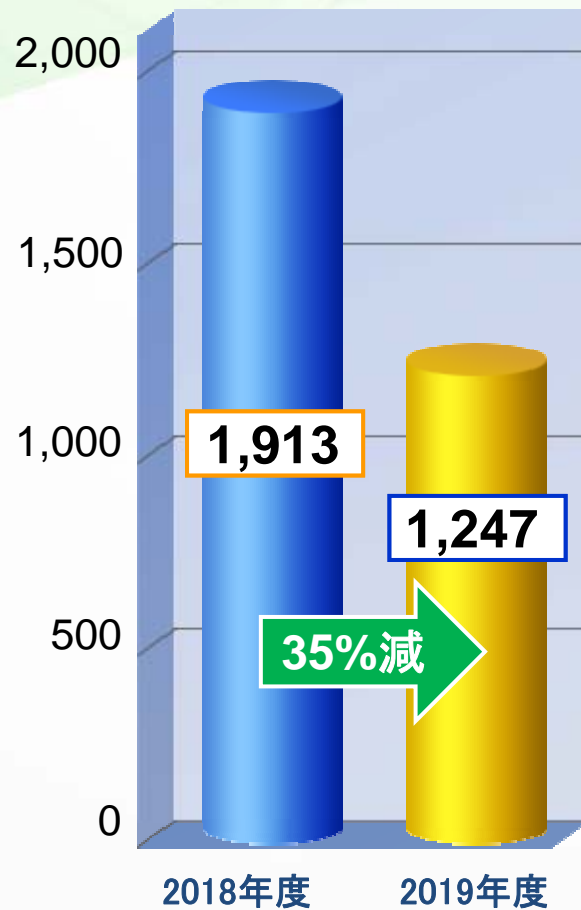
排水処理場増設設備

環境・プラント部門

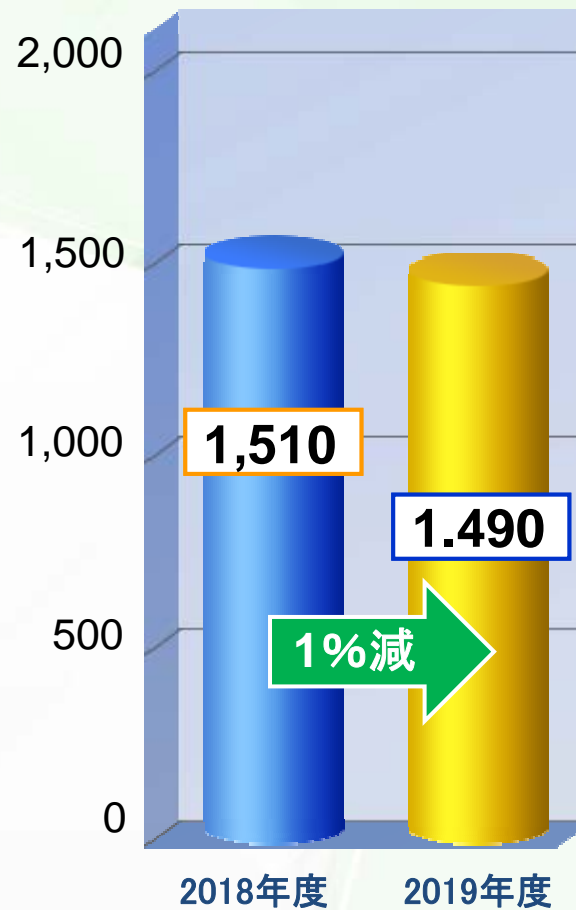
招集ご通知29頁

(単位:億円)

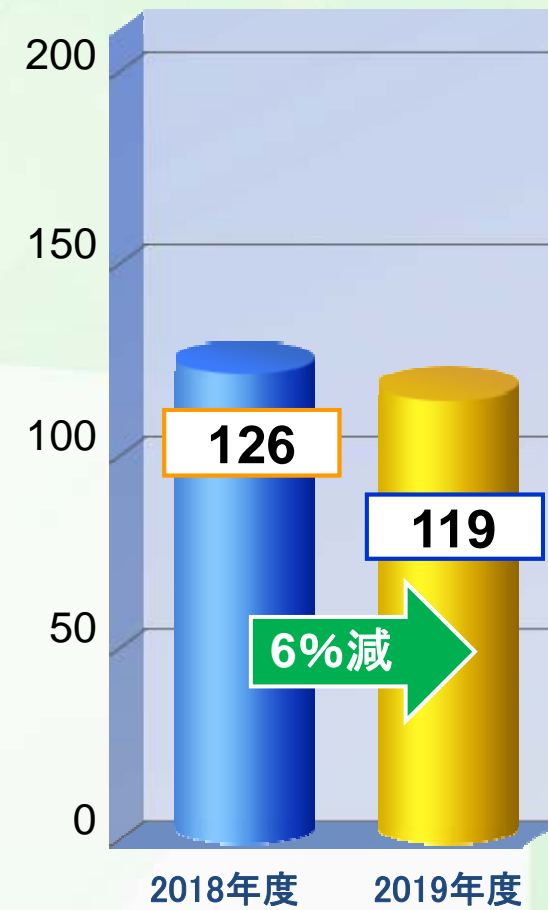
受注高




売上高



営業利益





連結貸借対照表

2020年3月31日

連結貸借対照表（要約）

招集ご通知45頁

（単位：億円）

区分	2019年度 3月末	2020年度 3月末
流動資産	5,836	5,928
現預金	736	871
売上債権	2,916	2,714
たな卸資産	1,890	2,010
その他	294	333
固定資産	3,705	4,024
有形固定資産	2,483	2,681
無形固定資産	651	732
投資その他の資産	571	612
資産合計	9,541	9,952

区分	2019年度 3月末	2020年度 3月末
負債合計	4,891	5,175
買掛債務	1,881	1,585
前受金	526	575
有利子負債	733	1,247
その他	1,751	1,768
純資産合計	4,650	4,776
株主資本	4,047	4,231
その他の包括利益 累計額	487	414
非支配株主持分	115	132
負債及び純資産合計	9,541	9,952
ネット有利子負債比率	△0.0%	△3.8%
自己資本比率	47.5%	46.7%

※ Invertek社連結による総資産の増加額 145億円

連結損益計算書

[2019年4月 1日から]
[2020年3月31日まで]

連結損益計算書（要約）

招集ご通知46頁

区 分	2019年度
売上高	8,645億円
営業利益	568億円
経常利益	527億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	328億円

その他の計算書類等

単体の計算書類

- ▶ 貸借対照表 48頁
- ▶ 損益計算書 49頁

ウェブサイト掲載（受付に書面でご用意しています）

- ▶ 連結株主資本等変動計算書
- ▶ 連結注記表
- ▶ 株主資本等変動計算書
- ▶ 個別注記表

対処すべき課題

中期経営計画2019総括

「中期経営計画2019」目標値と実績 (設備投資・研究開発投資は実施承認額)

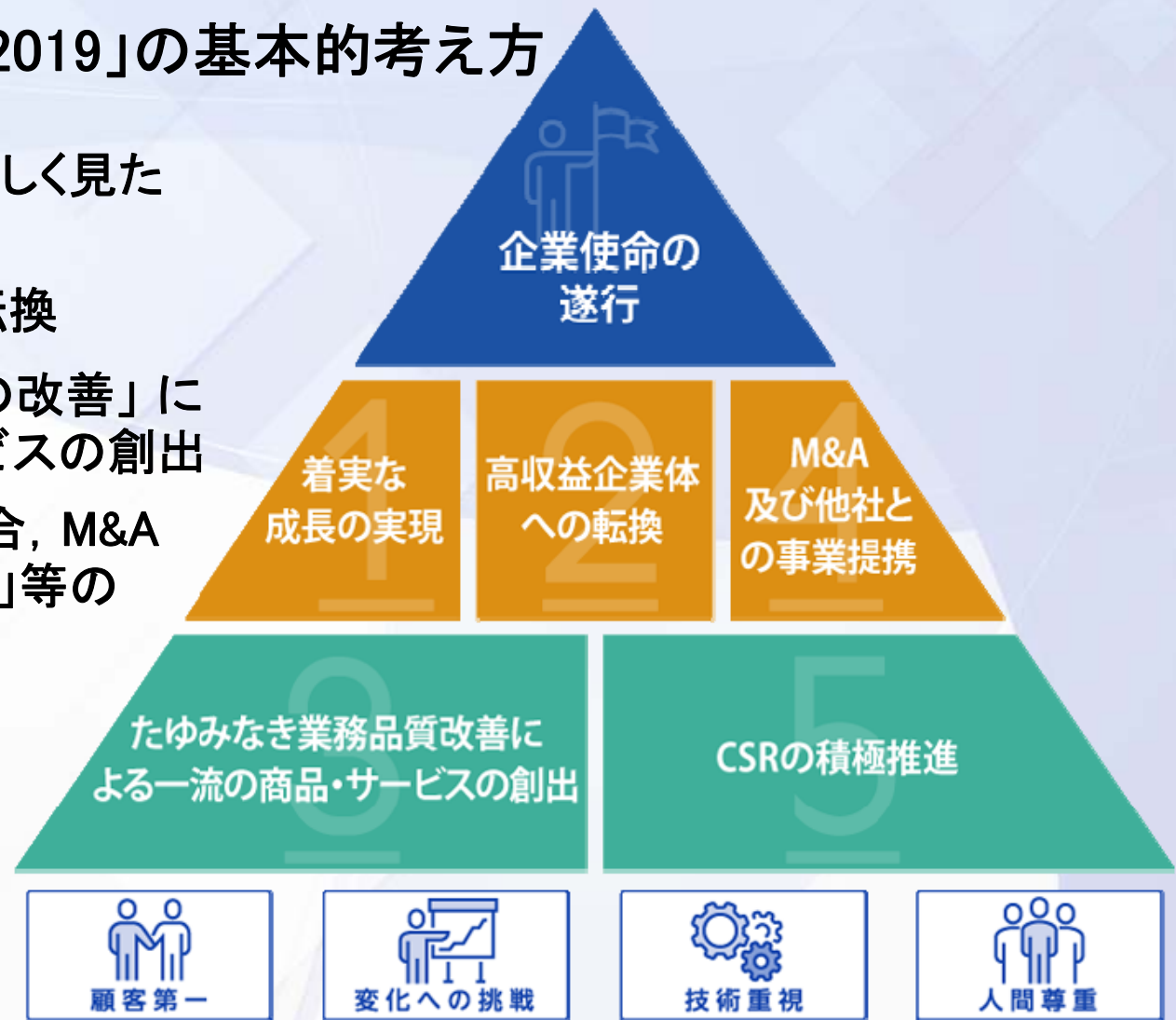
「中期経営計画2019」目標値 (2017年5月公表時)		2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績
財務 目標	売上高:8,000億円(2019年度)	7,910億円	9,031億円	8,645億円
	営業利益率:7.5%(2019年度)	8.8% (699億円)	8.3% (752億円)	6.6% (568億円)
	ROIC:7.5%以上(2019年度)	10.3%	10.5%	7.3%
配当性向:30%維持		30.1%	30.1%	34.0%
設備投資:800億円(3カ年)		1,276億円(3カ年)		
		360億円	410億円	506億円
研究開発:520億円(3カ年)		565億円(3カ年)		
		164億円	183億円	218億円

当初2年度は財務目標達成するも、最終年度は欧州景気の停滞，米中貿易摩擦の影響により収益面での達成及ばず

中期経営計画2019

「中期経営計画2019」の基本的考え方

- 1 国内外の経済動向を厳しく見た上での「着実な成長」
- 2 「高収益企業体」への転換
- 3 「たゆみなき業務品質の改善」による一流の商品・サービスの創出
- 4 成長のための「組織統合, M&A 及び他社との事業提携」等の積極的实施
- 5 「CSRの積極推進」



中期経営計画2019基本方針の体系

- サービス事業強化, グローバルでのグループ連携強化による収益力・競争力強化, 新製品の市場投入

- CSRの積極推進

- 積極的なM&Aの実施

- ▶ 2017年 Sumitomo SHI FW Energie グループ
- ▶ 2018年 Lafert グループ
- ▶ 2019年 Invertek Drives 社



- 業務品質の改善, コンプライアンス最優先の経営方針

- ▶ 不適切検査等に関する再発防止策の実行
- ▶ 信頼回復への取組み

2020年度及び中長期的な課題

招集ご通知32頁

■ 次期中期経営計画

▶ 2021年5月を目途に公表延期

■ 施策

新型コロナウイルス感染に対する対処

2020年度の課題

中長期的な課題

新型コロナウイルス感染に対する対処

施策	具体的取組み
従業員の安全確保	▶ 役員・従業員のテレワーク, 時差通勤などの感染拡大防止措置の継続, 強化 ▶ 緊急時における必要に応じた業務停止
社会的要請への最大限の協力	
事業基盤の維持	▶ お客様や協力会社との関係維持, 必要な支援

2020年度の課題

■ 新型コロナウイルス罹患者発生時における対応

- ▶ 生産維持などの短期的なBCP(事業継続計画)の実現
- ▶ 納期を含めたお客様からの要請への迅速かつ確実な対応
- ▶ 受注減少局面における事業維持・操業確保

■ 感染拡大第二波の発生に備えた対応

- ▶ 海外製造拠点等を含めた事業継続体制の確立
- ▶ 機械コンポーネント部門, 精密機械部門などにおける需要の反転・拡大時への備え推進

中長期的な課題

- ▶ 次期中期経営計画の策定
- ▶ 市場構造の変化への対応
- ▶ 高収益化
- ▶ 成長への回復シナリオの策定・実行
- ▶ 2020年度以降、あらゆる状況の変化に対応できる本質的なBCP（事業継続計画）の策定に取り組む

決議事項

▶▶ 期末配当に関する事項

■ 配当財産の種類

▶ 金銭

■ 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

▶ 当社普通株式1株につき 35円

▶ 配当総額 4,288,063,115円

■ 剰余金の配当が効力を生じる日

▶ 2020年6月29日

第2号議案 取締役10名選任の件

招集ご通知8頁～



別川俊介



下村真司



岡村哲也



田中利治



鈴木英夫



平岡和夫



小島英嗣



高橋 進
(社外取締役)



小島秀雄
(社外取締役)



濱地昭男
(社外取締役)

第3号議案 監査役2名選任の件

招集ご通知19,20頁



高石祐次



若江健雄
(社外監査役)

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

招集ご通知21頁



前 補欠社外監査役
公認会計士

加藤朋行